

2023年9月1日

丸紅株式会社

株式会社みずほ銀行

アセットマネジメント One 株式会社

海外インフラ資産へのエクイティ投資に特化したファンド

『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 2号』のファーストクローズについて

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）、株式会社みずほ銀行（以下、「みずほ銀行」）、及びアセットマネジメント One 株式会社（以下、「AM-One」）は、海外インフラ資産へのエクイティ投資を目的として MM Capital Partners 2号株式会社（以下、「MMCP2」）を設立し、MMCP2 が運営・管理する『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 2号』（以下、「本ファンド」）を組成、ファーストクローズ（第1次資金募集完了）を実施しました。

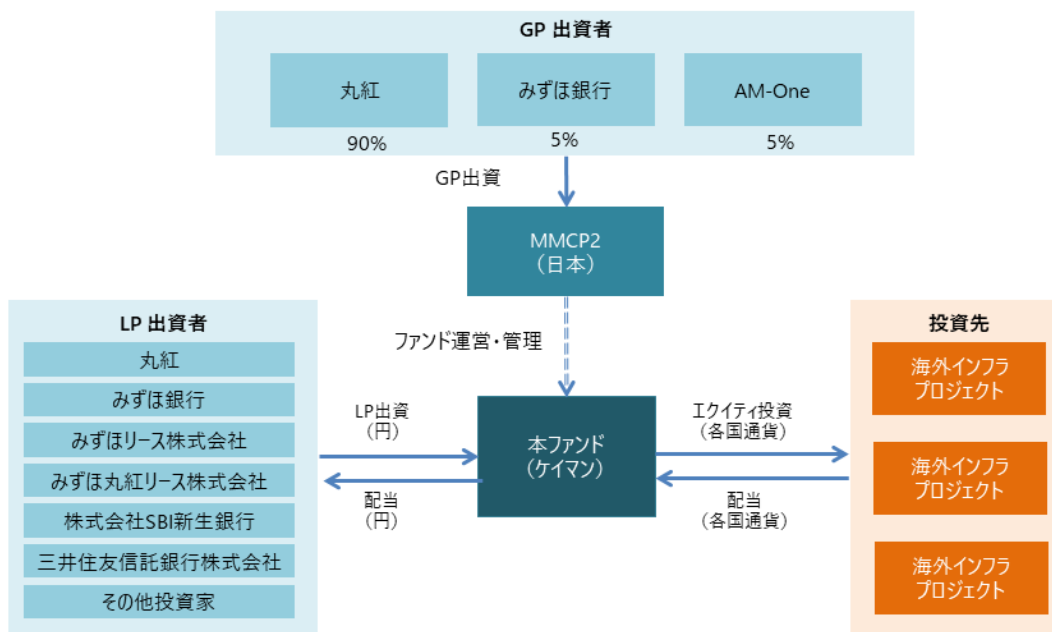
ファーストクローズには、丸紅、みずほ銀行のほか、みずほリース株式会社、みずほ丸紅リース株式会社、株式会社 SBI 新生銀行、三井住友信託銀行株式会社が出資者として参加しました。今後1年かけて幅広く投資家を募り、500億円規模の運用を目指します。

丸紅、みずほ銀行、AM-One は、安定的なリターンが見込まれる海外インフラ資産への投資を目的に2019年に『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 1号』を立ち上げました。丸紅の海外インフラへの知見・ネットワークと、みずほ銀行の高度な金融サービス提供力、AM-One のオルタナティブ投資運用力を掛け合わせ、鉄道、ガスパイプライン、病院など計8資産、総額500億円規模の投資を2023年6月に完了しました。これまで国内投資家にとってタッチポイントが少ない海外インフラ資産への投資機会を円建てで提供し、安定的なリターンを国内外の様々な投資家に評価されています。

後続ファンドとなる本ファンドにおいても、OECD（経済協力開発機構）加盟国に所在する、交通インフラ分野、エネルギーインフラ分野、社会インフラ分野を主な投資対象として、操業開始済みで安定的なキャッシュフローを創出する資産（ブラウンフィールド）を中心に投資します。これにより、カントリーリスクやプロジェクトリスクの低減を図るとともに、安定的な配当を行うことで、国内外の金融機関や年金等の機関投資家へ長期・安定的な資産運用先を提供することを目指します。

インフラ資産は、安定的なリターンが見込まれるオルタナティブ投資資産として需要が拡大しています。丸紅、みずほ銀行及び AM-One は、今後も世界のインフラ開発・発展に貢献し、インフラエクイティファンドの更なる拡大を目指します。

<スキーム図>



GP出資：ゼネラル・パートナーシップ出資

LP出資：リミテッド・パートナーシップ出資

<MMキャピタル・インフラストラクチャー・ファンド2号概要>

名称： MM Capital Infrastructure Fund II, L.P. (ケイマン籍リミテッド・パートナーシップ)

運営・管理会社： MM Capital Partners 2号株式会社

事業内容： 海外インフラ資産 (交通インフラ分野・エネルギーインフラ分野・社会インフラ分野等) へのエクイティ投資。OECD (経済協力開発機構) 加盟国が対象。

<ファンド運営・管理会社概要>

名称： MM Capital Partners 2号株式会社 (MMCP2)

所在地： 東京都中央区

代表者： 後藤朝英 (代表取締役社長)

出資比率： 丸紅 90% みずほ銀行 5% AM-One 5%

事業内容： MMキャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 2号の運営・管理

ウェブサイト： <https://www.mmcp.co.jp>

<関連プレスリリース>

・2019年1月15日

海外インフラ資産へのエクイティ投資に特化したファンド並びに運営会社の設立について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2019/release/00006.html>

・2021年3月11日

『MMキャピタル・インフラストラクチャー・ファンド1号』のファイナルクローズ (最終募集) 完了について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/00023.html>

以上

【ご注意事項】

- 当資料は、丸紅株式会社、株式会社みずほ銀行、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、丸紅株式会社、株式会社みずほ銀行、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOneは、DIAMアセットマネジメント、みずほ銀行の資産運用部門、みずほ投信投資顧問及び新光投信（以下、総称して「統合社」）が統合し、2016年10月に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約65兆円と国内有数の規模を誇ります。統合社が長年こわつて培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、「投資の力で未来をはぐくむ」をコーポレート・メッセージに掲げる資産運用会社として、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

※運用資産残高は2023年6月末時点。

公式HP <http://www.am-one.co.jp/>

商号等／アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会